

菌種情報調査報告書

シリアル番号 XXXXXxx
管理番号 SIID 00000
作業完了日 202x 年 xx 月 xx 日
発行日 202x 年 xx 月 xx 日

極秘資料

本報告書の使用にあたっての確認事項

1. 本報告書は株式会社テクノスルガ・ラボ 技術責任者による承認済みです。
2. 研究発表 (論文投稿) や特許明細書への転用を除き、本報告書の一部または全部をそのままあるいは改変して第三者へ転用などされた場合には、株式会社テクノスルガ・ラボは一切の責任を負いかねます。
3. 当社受託サービス等は、試験・研究用途を目的として販売しております。当社受託サービスを医療や臨床診断などの試験・研究目的以外へご使用される場合、これに起因する損失・損害等については、当社では一切の責任を負いかねます。

技術責任者

印

株式会社テクノスルガ・ラボ 研究センター 技術部

〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎 388 番地の 1

TEL : 054-349-6211 FAX : 054-349-6121

Mail : tsl-contact@tecsrg.co.jp

SIID00000: *Lactobacillus* XXXXX

項目	内容
命名者, 発表年 ¹⁾	00000 and 00000, 19**
和名 (俗名)	なし
基準株 (タイプ) ¹⁾	ATCC 0000, CCUG 0000, CIP 0000, DSM 0000, IFO (now NBRC) 0000
基準株 (タイプ) の分離源 ²⁾	ワイン
様々な株の分離源 ³⁾	テーブルワイン (カリフォルニアの様々な産地)
バイオセーフティレベル (BSL) ⁴⁾	レベル 1
臨床情報	情報なし
毒素	情報なし
動物病原性	情報なし
植物病原性	情報なし
グラム染色 ³⁾	陽性
細胞形態 ³⁾	桿菌 (0.5-0.8 × 2.0-4.0 μm)
運動性 ³⁾	なし
芽胞形成 ³⁾	なし
生育培地 ^{2,5)}	MRS agar/ broth, BL agar, GAM agar/ broth
気相条件	通性嫌気性
生育温度	30°C (基準株) 15°C で生育可, 45°C では生育しない
生育 pH	至適範囲: pH 4.5 ~ 5.5
耐塩性	情報なし
耐熱性	情報なし
発酵 ³⁾	陽性: maltose, ribose, xylose 陰性: arabinose, cellobiose, esculin, mannose, melibiose, raffinose, trehalose
その他 ^{3,6,7)} (特徴的な性状)	カタラーゼ活性: 陰性
	アルギニンからのアンモニア産生: 陽性
	寒天培地上での生育は不良
	アルコール耐性を示し、15~18% エタノール存在下で生育可能
	Fructose からの最終産物として lactic acid, acetic acid, CO ₂ を産生
	絶対ヘテロ型発酵
	細胞外多糖 (EPS) を産生する (主にデキストラン) 産生したデキストランにより他の乳酸菌や酵母の菌体を接着し、sugary kefir grain (フランスの発酵飲料 sugary kefir のスターター) を形成 マロラクティック発酵に関与し、ワインの酸味を低減させて風味を改善する



引用文献	<ol style="list-style-type: none">1) LPSN: List of Prokaryotic names with Standing in Nomenclature (https://lpsn.dsmz.de/)2) Deutsche Sammlung von Mikroorganismen und Zellkulturen GmbH (DSMZ; http://www.dsmz.de/home.html)3) Hammes and Hertel. (2009). Genus I <i>Lactobacillus</i> Beijerinck 1901, 212^{AL}. In <i>Bergey's Manual of Systematic Bacteriology</i>, 2nd edn., vol. Three, The <i>Firmicutes</i>, pp. 465–511. Edited by De Vos <i>et al.</i>: New York, Springer.4) 日本細菌学会 病原細菌の BSL レベル (http://www.jsbac.org/infectious_disease/index.html)5) ATCC: American Type Culture Collection (http://www.atcc.org/)6) 森地敏樹ら (1996). 乳酸菌の科学と技術 乳酸菌研究集談会編. 学会出版センター7) 山本憲二ら (2010). 乳酸菌とビフィズス菌のサイエンス 日本乳酸菌学会編. 京都大学学術出版会.
------	--

補足

1. 「情報なし」の記載は、当社所有の文献、書籍などで調査した結果、情報が得られなかったことを意味します。
2. 本報告書に関するご質問等につきましては、株式会社テクノスルガ・ラボ 技術部までお問い合わせください。